

# 皆さまへの感謝とともに 未来への一歩を

竜王町地域振興事業団は、平成7年(1995年)4月の設立以来、令和7年度をもちまして設立30周年という大きな節目を迎えることができました。これまでの皆さまへの感謝とともに、未来への一歩を踏み出すことができましたのは、町民の皆さまをはじめ、ご利用者の皆さま、関係機関・団体の皆さま、そして当事業団を支えてくださった歴代役員のご尽力のおかげであり、心より深く感謝申し上げます。

当事業団は、平成8年の「ドラゴンハット(総合運動公園)」オープンを翌年に控え、平成5年に開園していた「妹背の里」を一括管理する組織として設立いたしました。以来、総合運動公園では各施設が順次整備され、その管理運営を担うとともに、生涯学習やスポーツ・健康づくりの拠点として、竜王町の特性を活かした地域振興と町内外の交流を促進する情報発信基地としての役割を担ってまいりました。

この30年の歩みを振り返りますと、数々の感慨深い出来事が思い出されます。中でも、青少年の健全育成におきましては、当施設を練習拠点とする野球やサッカーのチームが、近畿・全国大会への出場や全国優勝という輝かしい成果を収められたことは、私たちにとっても大きな喜びでございました。また「妹背の里」は、四季折々の自然を楽しむ名所として親しまれる一方で、近年は創意工夫を凝らした野外体験活動の人気スポットとして、町内外から高い評価をいただくまでに成長いたしました。さらに、設立30周年の佳節に「わたSHIGA輝く国スポ2025」のスポーツクライミング競技会場となったことは、記憶に新しい出来事です。大会当日の雨模様の中、全天候型屋根付きグラウンドとしての真価が発揮され、感動と興奮に包まれた光景を目にし、あらためてこの施設を築き上げてこられた先人のご努力に、感謝の念が込み上げてまいりました。

ドラゴンハットに響く町民運動会の歓声、妹背の里でのお花見やキャンプを楽しむ子どもたちの笑顔、ボルダーに挑む真剣な汗。これら一つひとつの場面が、当事業団の30年を彩る宝物です。本年度は「町制70周年」という記念すべき年でもあり、事業団設立30周年記念事業として、皆さまへの感謝を込めた「大型複合遊具の設置」や「ボルダリングクリニック」などの記念事業を実施いたしました。これからの時代も社会の変化に柔軟に対応し、子どもから高齢者まで誰もが「安心して、楽しく、健やかに過ごせる場所」であり続けられるよう、施設の適正な管理運営はもとより、時代に即した新たなプログラムの創造に努めてまいります。

輝く竜王町の未来に向け、引き続き変わらぬご支援とご高配を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年3月

公益財団法人 竜王町地域振興事業団 理事長 杉木 栄司



ドラゴンボルダリングジム



2025  
7.12

## メダリストから学ぶ ボルダリングクリニック

スポーツクライミングの元選手・野口啓代さんと、現役選手・梶崎智亜さんご夫妻を講師に迎え、ボルダリングクリニックを開催しました。県内外の子どもから大人まで64名が参加され、トップアスリートによる直接指導のもと、クライミングの技術や楽しさを体感していただきました。午後のトークショーでは、世界を舞台に活躍してこられた経験や挑戦のエピソードも語られ、ボルダーの魅力と可能性を身近に感じられる貴重な機会となりました。

妹背の里



2025  
12.21

## 大型複合遊具 「ドラゴンアドベンチャー」オープン

約4年ぶりに新たな大型複合遊具が設置され、子どもたちの新しい遊びの場が誕生しました。町名にちなんで「竜」をコンセプトにデザインされた遊具は、登る・くぐる・すべるといった多彩な動きの中で、子どもたちが楽しみながら体を動かせる工夫が随所に施されています。中でも、迫力あるフリーフォールやトンネル型のチューブスライダーなど、特徴の異なる4種類のすべり台は人気を集め、オープン当日は、子どもたちが何度も挑戦する姿が見られました。

未来へつなぐ



周年記念事業



発行日：令和8年3月 発行元：公益財団法人 竜王町地域振興事業団  
〒520-2541 滋賀県蒲生郡竜王町岡屋 3282 番地 TEL：0748-58-3172



公式ホームページ  
<https://ryuoh.or.jp/>



公益財団法人 竜王町地域振興事業団 設立30周年記念誌



# ひとが集い 場が育ち 未来へ つながる 30年

人と人が出会い、時間を重ね、それぞれの想いが行き交う場に育ってきました。  
ここにあるのは、30年分の小さな積み重ねです。

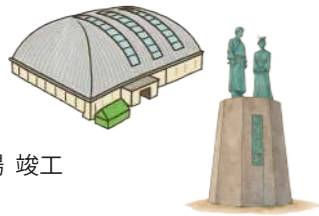
竜王町総合運動公園

妹背の里



## 礎を築いた時代

### 1995



1982 竜王町農村運動広場 竣工  
昭和57

1993 妹背の里 竣工  
平成5

1995 財団法人 竜王町地域振興事業団 設立  
平成7 さくらまつり 開始

1996 ドラゴンハット 竣工  
平成8

1997 地域産業研修センター 竣工  
平成9 観月と万葉のタベ 開催  
町長杯ソフトボール大会 開始  
テニススクール 開始

1998 町長杯少年サッカー大会 開始  
平成10 理事長杯少年サッカー大会 開始  
町長杯少年野球大会 開始  
テニスコート 竣工

1999 レストハウスどらごん 竣工  
平成11



テニススクール



町長杯少年野球大会

妹 1995



さくらまつり

竜王町自主活動団体  
あえんぼグループ

「レストハウスどらごん」の開業当初からレストラン業務に携わりました。竜王町で採れた野菜をふんだんに使ったお弁当を多くの皆さまに提供し、「おいしかったよ」と声をかけていただいたことがとてもうれしかったです。これからも地域の皆さまのためにがんばってください。

## 広がりをもった時代

### 2000



2000 ドラゴンスポーツセンター 竣工  
平成12

2001 スイミングスクール 開始  
平成13

2003 町長杯テニス大会 開催  
平成15

2004 アクアビクススクール事業 開始  
平成16

2006 はつらつシリーズ事業  
平成18 (体操・水中ウォーキングなど) 開始

2009 ドラゴンスポーツジム・スタジオ 竣工  
平成21 各種スタジオ事業 (バレエ・ピラティスなど) 開始  
テニススクール生大会 開始  
ドラゴンふれあいフリーマーケット 開始  
フリーマーケット in ドラゴンハット 開始



スイミングスクール



はつらつサイズ



バレエ



フリーマーケット in ドラゴンハット

第79回国民スポーツ大会  
ウエイトリフティング競技会  
滋賀県代表

つみ まお  
堤 菜央さん

竜王小学校に通っていたころ、ウエイトリフティングに興味を持ち、ドラゴンスポーツジムで練習をしていたことがあります。その経験が競技を始めたきっかけです。昨年の滋賀国スポでは滋賀県代表選手として、恩返し気持で出場しました。社会人になっても、さらに高みを目指して努力していきたいと思っています。



## つながりを深めた時代

### 2010



2010 キャンドルナイトヨガ 開催  
平成22

2011 ZUMBA 開始  
平成23 歴史講座 開始

2012 公益財団法人へ移行  
平成24 竹灯籠教室 開始  
キャンプ初心者講習会 開催  
特定高齢者運動機器機能向上プログラム  
長・いきいき健康教室 開始

妹 2012



竹灯籠教室

2013 アウトドアクッキング 開始  
平成25 台風18号により妹背の里 被災

2015 芝生広場 拡張  
平成27 事業団設立20周年記念  
少年サッカー大会・新春いもせまつり 開催

2016 ドリームサッカー教室 開催  
平成28 ドリーム野球教室 開催  
筆文字教室 開催

2017 イモセレーションライトアップ 開催  
平成29 プロサッカー滋賀県人会カップ 開催  
ロボット教室 開催

2019 親子deキャンプシリーズ 開始  
令和元年



ドリームサッカー教室



ロボット教室

LUA サッカースクール & FC U-15

もちつき せいや れお  
望月 聖矢さん(左) 嶺臣さん(右)

いつも子どもたちのスポーツに取り組む環境を整えてくださり、大変感謝しております。私たち子どもたちの個性を大切に考える力や逆境に立ち向かえるような力を育て、魅力的な人間になれるようなサッカースクールを運営していきたいと思っています。



## 未来へ踏み出す時代

### 2020



2021 輝竜キャンプ 開始  
令和3 スイミングスクール生記録会 開始  
オートキャンプ体験 開催  
グラウンドゴルフ体験 開催

2022 里のこども園 開始  
令和4 ドラゴンボルダリングジム 竣工

2023 ボルダリングキッズスクール 開始  
令和5 D4 (Dragon Dance Dance Dance) 開始

2024 ツリーハウス 完成  
令和6

2025 竜王町地域振興事業団設立30周年  
令和7 事業団設立30周年記念ボルダリングクリニック 開催  
事業団設立30周年記念大型複合遊具 設置



輝竜キャンプ



D4 (Dragon Dance Dance Dance)

ボルダリングキッズスクール  
こうやま きょうのすけ  
神山 恭乃介さん

スポーツを始めたくて悩んでいたら、お母さんがクライミングを勧めてくださいました。ボルダリングは人それぞれの個性あるムーブ(登り方)を見るのも楽しくて、頭も使います。自分流のムーブをみつけて、将来はそれを引き出せるクライミング選手になりたいです。



里のこども園

いぬい あや はつき  
犬井 文さん(左) 葉月さん(右)

家ではできない体験ができ、親子ともども楽しませていただいています。里のこども園を通して、わが子の「出来ること」がたくさんあることを知りました。これからもわが子の発見をしていきたいと思っています。

